



©Yuki Asada

“植物は人を癒やす”という言い伝え

動物は人に病をもたらすが、植物は薬を与える——そんなアステカ族の言い伝えが詰まったせっけんが、メキシコにある。

地球上の動植物種の1割以上が生息し、世界第4位の生物多様性を誇るこの国では、15世紀ごろに先住民のアステカ帝国が栄えていた。その後の植民地化と疫病で半世紀ほどのうちに人口の8割が失われたが、積み重ねられた知恵は500年の間、脈々と受け継がれてきた。

ハーブの香りがさわやかなせっけん「ナンダモ・プレミアム」は、メキシコの野山に自生する薬草を熟成させて作る、アステカ族の伝統的なレシピが元になっている。

世界を渡り歩いてメキシコにたどりついたある実業家が、疲労とストレスで体調

を崩し、脱毛や皮膚の荒れに苦しんでいた。そのとき、現地で知り合ったメキシコ人から「植物は人を癒やす薬を与える」という言い伝えと共に渡されたのが、このハーブの塊だった。

使ってみてその効果と先人の知恵の大切さを実感したその実業家は、このせっけんをより多くの人々に伝えたいという気持ちから、アジアを中心に販売するようになった。

今でも、現地の女性たちは昔と変わらない手法でハーブを刻み、一つ一つ熟成させてせっけんを作っている。言い伝えの通りに植物がくれた薬は、彼女たちの手で形になり、今では世界中の人たちを癒やしてくれている。



天然の植物だけで作ったせっけんはやさしい香りがする

★メキシコのハーブせっけんを10人にプレゼント!
→詳細は38ページへ

★製品の販売情報は
<http://www.nandamo-store.com/>まで

